

第56回岩船林業振興祭

森林の大切さを伝える、「第56回岩船林業振興祭」が10月1日、関川村を会場に開催されました。

振興祭には、県内の林業関係者など約250人が参加。記念式典や記念植樹が行われました。記念植樹は、幾地地内の村有林で実施。来賓をはじめ、関川小学校4、5年生

が参加し、ヤマボウシの苗木300本を植えました。村民会館で行われた記念式典では、功労者表彰などが行われ、小学校代表の渡邊颯太さん（5年）と加藤日和さん（5年）が「私たちは、森に親しみ、大切にします。そして、この気持ちを後輩に引き継いでいきます」と誓いの言葉を発表しました。

なお、功労者表彰は次のとおりです。

（村内受賞者のみ掲載。敬称略）

■新潟県緑化功労者知事表彰

▽河内源太郎（大石）

■にいがた緑の百年物語緑化推進委員会感謝状

▽緑の募金

関川小学校

▽緑化功労者

山本集落

■岩船林業振興祭実行委員会会長表彰

▽須貝敏子（高田）



▶幾地地内の村有林で行われた記念植樹の様子

関川村常設保育園50周年記念植樹・記念公演

常設保育園が開設されて今年で50年を迎えたことを記念して、10月11日に下関保育園と大島保育園の年長児約30人と保護者が参加して、記念植樹と記念公演が行われました。

記念植樹は、グラウンドの一角で行われ、平田村長が「大人になったら、見に来てください」と声をかけ、園児全員がスコップを手にサルスベリの根に土をかけました。

記念植樹後は、村民会館大ホールでピーカーブー（田村優子代表・平内新）による記念公演が行われ、園児たちは和太鼓演奏や人形劇を楽しみました。

▶サルスベリの木に土をかける園児たち



関川小5年生児童学校田で収穫作業を体験

10月16日、さわやかな秋晴れのなか、下関地内にある関川小学校田で5年生児童が「ちぐら米」の稲刈り作業（脱穀）を体験しました。

当日は、JA職員のほか、地域の皆さんなど5人がボランティアとして参加。5月に田植え、10月5日に刈取り作業をし、はさがけしていた稲。今回は、稲刈り作業の最後となる脱穀とワラをまとめる作業に挑戦しました。

お父さんの実家で稲刈り作業をしたことがある安部飛竜さん（下関）は「機械から脱穀されたワラを運ぶのが大変だった。ご飯が大好きなので、これからも手伝いをしたい」と話していました。

今回収穫した米は玄米で210kg。10月25日に開催されたえちごせきかわ米沢街道まつりで、来場者に無料配布されたほか、学校給食などで使用される予定です。

県女子アマチュアゴルフ 2連覇達成!



瀬賀百花さん（下関・開志国際高2年）が、10月7日にノーブルウッドゴルフクラブ（新発田市）で開催された第18回新潟県女子アマチュアゴルフ選手権に出場し、見事優勝を飾り2連覇を成し遂げました。

当日は天候も良く、絶好のゴルフ日和のなか行われ、ただ一人だけアンダーパーの71でラウンドした瀬賀さんが総合の部で優勝。優勝者に与えられる女子プロゴルフツアーの「2016ヨネックスレディースゴルフトーナメント」への出場権を獲得しました。

瀬賀さんは「連覇できてとても嬉しいです。来年のプロツアーでは今年出場した経験を生かして、予選通過を目標に頑張ります」と、抱負を語ってくれました。

鷹ノ巣道路 村民現場見学会

羽越河川国道事務所では、地元村民と役場職員に鷹ノ巣道路事業（延長5.0km）の進捗状況を見て頂き、現場とのコミュニケーションを図ることで、事業に対する不安や疑問を解消したり、意見や要望を受ける場となることを目的とし、見学会を実施しました。

10月13日、小雨が降る中、村民や村議会議員など約30名が参加し、鷹ノ巣道路1号橋の杭基礎工事や土質改良工事の現場を見学し、進捗状況や工事内容の説明を聞きました。

昨年に引き続き参加した地元大内川区長の遠藤貞幸さんは、「集落からは、上の工事の状況が分からないので、これからも見学会があれば参加したい。完成は何時になるか分からないとのことだが、集落先の113号線との接続まで早く進めてもらいたい」と語っていました。



飛ばせたらいいなという思いを発表しました。その後、村上人権擁護委員協議会の皆さんによる紙芝居、全校児童による合唱なども行われ、「人権の大切さ」を学びました。人権キャラバン隊の棚橋正樹隊長は「はじめをしない、友達を大切に助けてあげる。これが大きな人権ハートになります。そんな人が大勢いる関川小学校になってください」と子どもたちに呼びかけました。

「人権キャラバン隊が 関川小学校にやって来た」

10月8日、関川小学校に人権啓発キャラバン隊が訪れ、「人権ハート回収大作戦」が行われました。

これは、子どもたちに人権に関する理解・意識を深め、優しい心を育んでもらおうと県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催で、毎年県内小学校を訪問しているもの。関川小学校で作られた人権

ハートのかげらには、みんな考えたメッセージを記入。県内に散らばったかけらの1つとして、人権ハートにはめ込まれました。

そのほかに5・6年生の代表10人から人権標語の発表が行われ、阿部和樹さん（6年・大島）が、「バットもち、はじめのボールかつ飛ばそう」といじめも野球のようにかつ飛ばせたらいいなという